

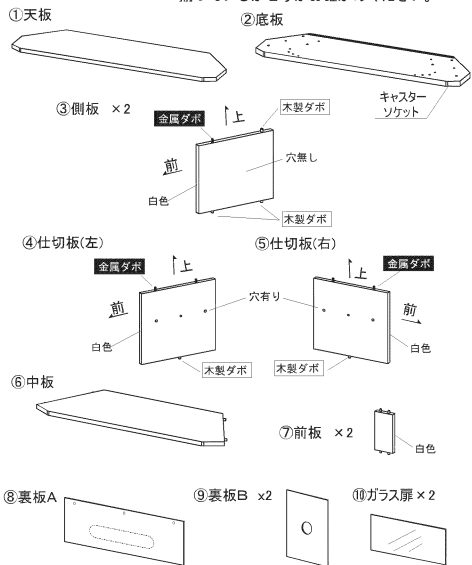
薄型テレビスタンド

AS-CN1200-W

組立説明書

部品一覧

●組み立て前に下記の部品表の全ての部品が揃っているかどうかご確認ください。



No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
11		ラッパネジ	8	18		キャスター (ブラック)	4
12		回転ピン(A)	2	19		キャスタートレイ	2
13		回転ピン(B)	2	20		マグネットラッチ (W)	1
14		キャッチ受け	2	21		マグネットラッチ用取付けネジ	2
15		クッション	2	22		転倒防止ロープ	1
16		固定ネジ	3	23		ワッシャー	2
17		キャスター (シルバー)	2	24		転倒防止ロープ用取付けネジ	1

◆ご用意の道具 プラスドライバー

取扱い上のご注意

- 直射日光にあたり、ストーブのそばにおくと光や熱により変色、変形することがありますのでご注意ください。
- この製品にセロテープ、ラベル等を貼らないでください。(はがすときに表面の化粧面がはがれる場合があります。)

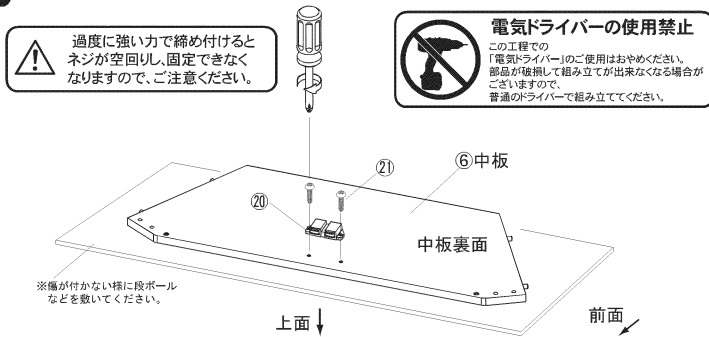
お手入れのしかた

- 汚れをとるときは、乾いた布でふいてください。汚れのひどい時は、中性洗剤をしみ込ませた布をかたくはったもの、又は家庭用クリーナーで汚れを落としてから、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーの使用は、変色や色ハゲの原因になりますのでおやめください。(化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きにしたがってください。)

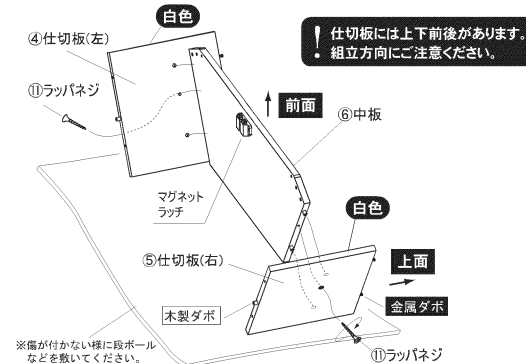
ご購入いただきありがとうございます。組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

朝日木材加工株式会社
〒440-0071 愛知県豊橋市北島町北島87番地 TEL (0532)53-3338
※住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

1 中板へ、マグネットラッチの取り付け



2 中板と仕切板(右),(左)の組み立て



3 天板と仕切板、側板の組み立て

上下向きに注意して組み立ててください。

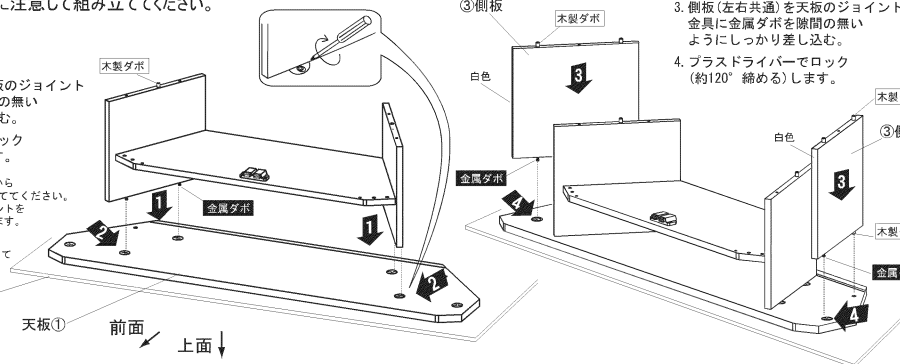
手順

- 仕切板(右),(左)を天板のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。
- プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。

側板、仕切板(右),(左)を上からしっかりと押さえ、組み立ててください。※押さえが不十分だとジョイントをロック出来ない場合があります。

うまくロックできない場合は、一度ドライバーで「」に面して最初からやり直してください。

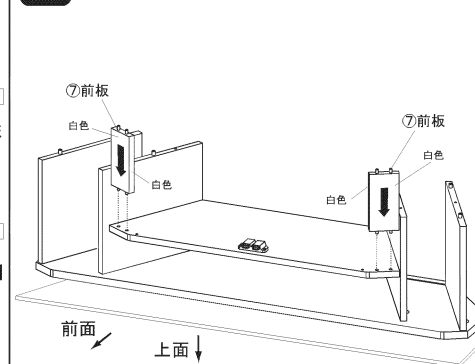
※傷が付かない様に段ボールなどを敷いてください。



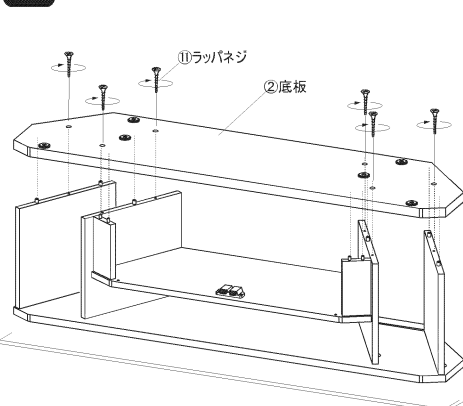
手順

- 側板(左右共通)を天板のジョイント金具に金属ダボを隙間の無いようにしっかり差し込む。
- プラスドライバーでロック(約120° 締める)します。

4 前板の組み立て

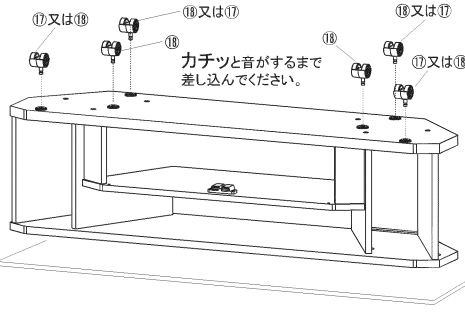


6 底板の組み立て



5 キャスターの取り付け

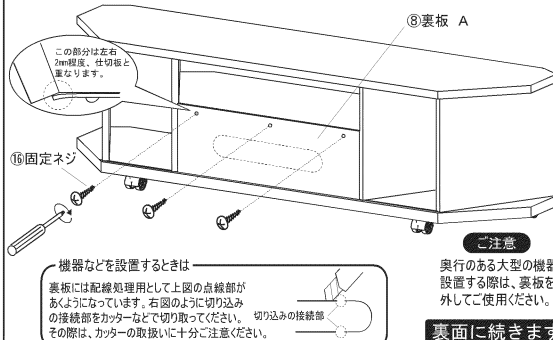
※キャスターは、シルバーとブラックの2色からお好みで取り付けてください。



7 裏板Aの組み立て

手順

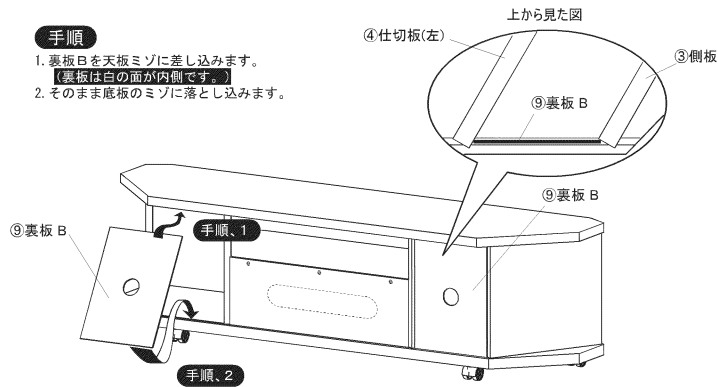
- 本体をゆっくりと起こしてから底板ミゾに合わせて裏板を差し込みます。**裏板は白の面が内側です。**
- プラスドライバーを用いて固定ネジで3ヶ所締付けます。



8 裏板 Bの組み立て

手順

- 裏板 Bを天板ミゾに差し込みます。
【裏板は白の面が内側です。】
- そのまま底板のミゾに落とし込みます。

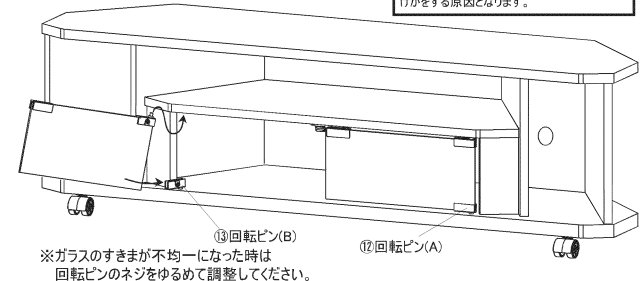
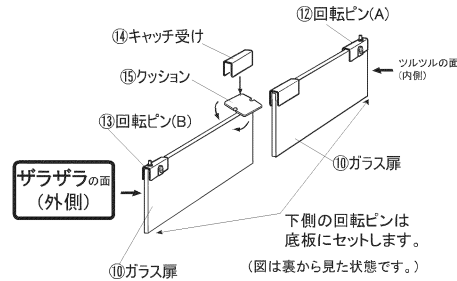


9 ガラス扉の組み立て

ガラス扉を図のように2枚セットし、取り付けてください。
(ガラス扉はザラザラの面が外側です。)

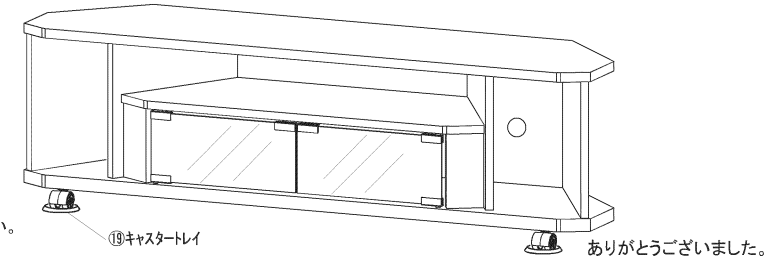
注意

ガラス扉のフィルム面は裏(内側)にしてください。
フィルム面に傷をつくと破損しやすくなり、
けがをする原因となります。



10 完成

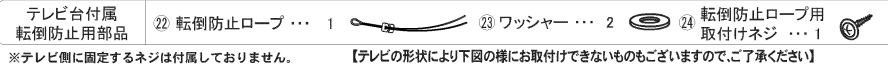
【耐荷重】
天板：30kg以下
棚板：10kg以下
底板：10kg以下
総耐荷重：50kg以下
※この範囲内でお使いください。



テレビ転倒防止(前方向)についてお願い

テレビにお子様が登場したり、揺すったり、押したりされまるとテレビが前方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもつぎ実施して頂きますようお願い致します。

テレビの転倒防止処置についてはテレビ付属の転倒防止用部品にて対応出来る場合もございます。
テレビの取扱説明書をご参考の上、テレビ付属の転倒防止用部品かテレビ台付属の転倒防止用部品のどちらか適した方を選択しお取付ください。

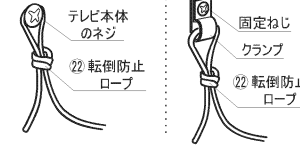


手順 1

テレビ本体のねじまたは、テレビに付属されている転倒防止用金具(固定ねじ・クランプ等)にロープをかけます。

※取付穴は壁掛け金具取付用ネジ穴などを使用します。

〈テレビ本体のねじの場合〉 〈クランプの場合〉



上図の様にロープを結んで取付けをします。
※必要に応じて③ ワッシャーをご使用ください。

手順 3

片側と同様にロープを取付けます。

重要!!

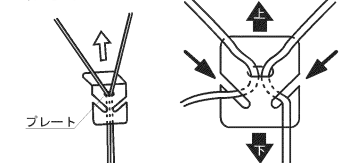
テレビ内部やコンセントに入らないよう
おまいたロープは巻き付けるまたはテープなどで止めてください。

手順 2

ロープが輪になっている部分を
図の様に転倒防止ロープ用ネジで
天板に仮固定をします。
ネジは完全に締めないでください。

手順 4

ロープがV字状に取付けが出来たらプレートを図の向きにし、上に引き上げてロープを張らせませす。ロープが張った状態でプレートのミゾにロープを引っ掛けて固定します。最後に④の転倒防止ロープ用ネジをしっかりと締付けてください。



使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害や財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示と図記号について

- ▲警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ▲注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

- テレビやスタンドにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください
テレビが転倒したり、機器が落下したりし、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のご家庭ではご注意ください。
- 振動のある場所に置かないでください
振動でテレビが転倒したり機器が落下しけがの原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください
スタンドの強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- 薄型テレビ以外のものを載せないでください
本製品は薄型テレビを載せる専用スタンドです。その他のものや重いものを載せないでください。
- 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 移動・設置において
 - 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒しけがをする恐れがあります。
 - 移動させた後に、ネジのゆるみや金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒する原因となります。
 - キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の凹凸がある時は持ち上げてゆっくりと動かしてください。フローリング等の表面がやわらかい場合、キャスターの移動音が響く場合があります。
- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。
- 転倒防止の処置を行ってください
転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒しけがの原因となります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。
*付属している転倒防止ロープ(前方向)は地震等の揺れに伴う転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お隣や家具等に障害が生じた場合、一切の損害に責任をお負いません。
- テレビはテレビスタンドの中心に設置してください。
設置のバランスが悪いとテレビが傾いたりこわれたりして、けがをする恐れがあります。※記載されている総重量を超える機器は載せないでください。
- 手や指はさみにご注意ください
ガラス扉が閉まると手や指はさむ可能性があります。ご注意ください。
- ガラス部品について
ガラスには強度差をしていますが、使い方を誤ると割れる恐れがあります。割れるとガラスの破片が飛びけがの原因となりますのでご注意ください。
 - ガラスに物をぶつける、ガラス扉を開閉したままつかんだり強い衝撃を与えないでください。破損しやすくなりけがの原因となります。
 - 破損したまま使用したり、ガラス扉を開閉しにくい場合があります。
 - ガラスに傷やけがを生じたり、すぐに取替えてください。強化ガラスの場合ガラスに傷がつくと突然破損することがあります。
- 放熱を妨げないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。適宜押しつけてください。(10cm以上の間隔をあける)
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください
変形してテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。